

令和2年6月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(6月8日、9日 2日間)

○6月8日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
きずなクラブ 田名部 裕美	3 教育行政について	市中学校体育大会夏季大会の中止について	学校教育課	1
きずなクラブ 三浦 博司	3 教育行政について	ネットワークを活用した学習について	総合教育センター	3
新緑・無所属の会 伊藤 圓子	5 学校再開について	(1) 学習の遅れへの対応と心のケアについて	教育指導課	4
		(2) 学校の新しい生活様式への対応等について	教育指導課	5
		(3) 9月入学について	学校教育課	7

○6月9日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 苫米地 あつ子	新型コロナウイルス感染症に関する支援について	(3) 子育て支援について		
		ア 就学援助利用世帯への給食費相当額の支給について	学校教育課	8
自由民主・市民クラブ 岡田 英	3 GIGAスクール構想の実現について	(1) 校内の通信環境整備について	総合教育センター	9
		(2) 児童生徒への1人1台の端末整備について	総合教育センター	10
		(3) 整備に当たっての課題について	総合教育センター	11
新緑・無所属の会 山名 文世	3 指定管理者制度について	(2) 図書館の競争原理確保について	図書館	12
公明党 高橋 正人	3 教育行政について	(1) 臨時休業に伴う学習の遅れの解消について	教育指導課	13
		(2) GIGAスクール構想の概要について	総合教育センター	15
		(3) デジタル教科書の活用について	総合教育センター	16

資料（提出様式）

質問者(議員名)	田名部 裕美 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	市中学校体育大会夏季大会の中止について
質問内容	市中学校体育大会夏季大会・代替大会中止の経緯及び開催を再検討する考えはないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○新型コロナウイルス感染症対策の観点から全国大会及び県大会の開催中止が公表され、八戸市中学校体育連盟では、理事会を開催し、各競技委員長や学校代表理事から出された意見をもとに協議を重ねた結果、5月22日に、今年度は代替大会を含む夏季大会を中止することを発表した。</p> <p>○中止の判断に至った理由は、次のとおりと伺っている。</p> <p>○1点目は、競技会場に大人数が集まることが予想され、感染リスクが高まるとともに、会場等の消毒等の衛生管理が徹底できないこと。</p> <p>2点目は、3月の臨時休業以来、選手はほとんど練習ができていない状況であり、大きなけがにつながる可能性が多分にあること。</p> <p>○3点目として、競技によっては直接接触や飛沫による感染リスクが高く、代替大会が難しいものもあり、公平性を担保できないこと等があげられたということであった。</p> <p>○臨時休業とともに、部活動等の教育活動も自粛を余儀なくされ、約3か月間、子どもたちはほとんど体を動かす機会がないまま6月を迎えた。</p> <p>○このような現状にある中、市中体連をはじめ、多くの学校関係者は代替大会等の開催も含め、あらゆる可能性について慎重に検討を重ねたと聞いている。</p> <p>○本大会は、3年生にとっては3年間の集大成となるべく大会であり、誰もが待ち望んでいた大会でもある。</p> <p>○しかしながら、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないことから、子どもたちの安全を最優先するが故に、代替大会も含めた中止を決定したことは苦渋の決断であったと重く受け止めており、市教委としては、この決断を尊重していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	他市町村で代替大会を実施する中、八戸が開催しないとした判断について市長の所見を伺いたい。また、市長主催の大会等の開催予定はないか伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○中学生の安全や健康を第一に考え、中学校体育大会夏季大会の中止と代替大会等を実施しないという市中学校体育連盟の判断は、苦渋の決断であったと理解しており、私としてもこの決定については、尊重したいと考えている。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	節目となる市中学校体育大会夏季大会の中止により、次のステップへ進めない生徒やスポーツで進学を考えていた生徒のためにも、競技ごとの代替大会等の開催を強く要望する。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	ネットワークを活用した学習について
質問内容	当市におけるネットワークを活用した学習について、現状と今後の見通しを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○国は、令和元年12月「GIGAスクール構想の実現」として、高速大容量の通信ネットワークと1人1台端末を一体的に整備することを提言した。</p> <p>○高速大容量の通信ネットワークについては、当市でも、令和元年度補正予算により、令和2年5月に委託契約を締結し、令和3年1月には全ての小・中学校で高速大容量の通信ネットワークを利用できることを目指し工事を進めている。</p> <p>○各学校では、ICT機器を活用した授業に取り組んでおり、例えば、算数の図形の学習では、プログラミング教育を取り入れた授業の中で自分の作成した図形を描く活動をしたり、体育の学習では、運動している動画を撮影して練習前後の自分の動きを比べたり、理科の学習では実験の考察時にグループの考えをまとめたりする場面で活用するなど工夫している。</p> <p>○ネットワークを高速大容量化することで、授業においては、日常的に情報の検索・情報の共有等がスムーズに実施できるようになる。</p> <p>○臨時休業等の際には、各家庭への持ち帰りにより、ネットワークを活用したドリル学習・動画視聴・レポート作成・授業動画配信等のオンライン授業についても実現できるよう準備を進めている。</p> <p>○今後、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備することで、各学校において授業の中で日常的に1人1台端末が活用されるよう研修会を開催していく。</p> <p>○有事においても、学校と繋がる安心感と、子どもの学びの保障につなげる活用を研究していく。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	日常時のネットワークを活用した学習だけでなく、有事の際にも活用できるよう、1日も早く「GIGAスクール構想の実現」として、高速大容量の通信ネットワークと1人1台端末を一体的に整備することを要望する。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 学校再開について
発言の要旨	(1) 学習の遅れへの対応と心のケアについて
質問内容	学習の遅れへの対応について伺いたい。また、進学や進級に不安を感じている子供の心のケアをどうしていくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○臨時休業により不足する授業時数を確保するために、各学校においては年間の行事予定や指導計画を見直し、市教委では主催する各種事業や研修講座等を中止または規模を縮小する措置を講じた。</p> <p>○その結果、夏季休業期間を短縮して、小学校においては3日間、中学校においては5日間、授業を行う日を追加することで、文部科学省が定める学習内容を今年度内に履修するために必要な授業時数を確保できる見通しである。</p> <p>○また、臨時休業の影響で、不安やストレスを感じている児童生徒もいると承知している。</p> <p>○具体的には、学習の遅れによる入試への影響を心配する声や、人と接する機会が少ないことでストレスを感じているという声が、学校に寄せられている。</p> <p>○当市では、県教委の方針に基づき、今年度よりスクールカウンセラーを、中学校区の小・中学校間で柔軟に活用できるよう配置に配慮している。</p> <p>○各学校においては、これまで以上に、きめ細かく児童生徒の様子を観察するとともに、教職員間で日常的に情報を共有し、必要に応じて教育相談やスクールカウンセラーによる面談を行うなど、心のケアに努めている。</p> <p>○さらに、市教委としては、各学校において、新型コロナウイルス感染症に関連した偏見や差別が生じないように十分配慮し、児童生徒の心に寄り添いながら、悩みや不安の早期発見・早期対応ができるよう、支援して参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 学校再開について
発言の要旨	(2) 学校の新しい生活様式への対応等について
質問内容	「学校の新しい生活様式」への対応と課題について伺いたい。また、熱中症や、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波への備えについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○議員御指摘の「学校の新しい生活様式」については、令和2年5月22日に、文部科学省より「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」として通知され、児童生徒及び教職員の感染リスクを可能な限り低減するための感染症対策が示されたものである。</p> <p>○当市では、5月7日より学校を再開したが、5月中は「要注意月間」と位置付け、細心の注意を払ってきた。</p> <p>○6月からは、徐々に通常の教育活動に近づけていくが、「学校の新しい生活様式」を踏まえて、「三つの密」を避ける、マスクの着用及び手洗いを徹底するなど、基本的な感染症対策を継続し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、子供の健やかな学びを保障するために教育活動を行う。</p> <p>○また、児童生徒の下校後には、毎日、教職員が教室やトイレ、手洗い場などの消毒を行い、衛生管理に努めている。</p> <p>○「学校の新しい生活様式」が定着するためには、各学校で感染症対策を継続することはもちろんのこと、児童生徒自らが、感染症に対する正しい知識と技能を身に付けることが大切であると考えます。</p> <p>○各学校では、児童生徒に対して、「手洗いの徹底」や「マスクの着用」、「身体的距離の確保」、「抵抗力を高めるための睡眠・運動・食事」など、発達の段階に応じて具体的に指導している。</p> <p>○課題としては、学校は学習内容を身に付けるだけでなく、様々な人と関わりながら社会性を身に付ける場でもあるが、「三つの密」を避けるために、交流活動や近距離での対話活動を見合わせるなど、一部の教育活動を制限せざるを得ない、ということが挙げられる。</p> <p>○また、今後は気温が高くなり、熱中症のリスクが高まることも懸念される。</p> <p>○各学校では、適切な水分補給を行うとともに、マスクを付ける場面、外す場面を見極めながら、児童生徒の健康を第一に教育活動を進めていく。</p> <p>○さらに、今後の新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波への備えとしては、「学校の新しい生活様式」に基づいた感染症対策を継続するとともに、再度、臨時休業等を措置せざるを得ない状況に備えて、分散登校及び分散授業の実施方法や、ネットワークを活用した学習の在り方について、教職員向けの研修会などを通して、研究を進めていく。</p> <p>○特に、ネットワークを活用した学習については、1人1台端末・高速大容量のネットワークを整備した上で、通常の授業の中で活用を進めながら、緊急事態にも対応できるように準備を整えていく計画である。</p> <p>○市教委としては、児童生徒や教職員の感染のリスクを可能な限り低減しつつ、児童生徒の学習を保障するために、学校の支援に努めていく。</p>
担当課	教育指導課



◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 学校再開について
発言の要旨	(3) 9月入学について
質問内容	9月入学制の導入について教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○9月入学制の導入は、我が国の社会基盤の根幹に関わる問題であり、社会全体の構造が整備されていない状況下では、学校現場の混乱を招くことが予想され、時期尚早であると考えます。</p> <p>○今、学校での感染症対策や教育活動の推進に腐心している中で、新型コロナウイルス感染症対策に絡めた拙速な議論を行うのではなく、落ち着いた環境のもとで、時間をかけ、国民の声も十分に耳を傾け、冷静な議論を積み重ねていくことが重要である。</p> <p>○当市は、5月7日から学校を再開したところであり、この時期に9月入学制を検討することは、子どもたちや保護者、教職員にさらなる不安を与えるものと懸念していたが、6月2日、政府が来年度からの導入について見送る意向を示し、安堵している。</p> <p>○市教委では、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、引き続き、感染症対策に万全を期すとともに、今やるべき学びの保障を最優先とした教育活動に取り組んでいく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	新型コロナウイルス感染症に関する支援について
発言の要旨	(3) 子育て支援について ア 就学援助利用世帯への給食費相当額の支給について
質問内容	就学援助を利用している準要保護世帯への小中学校の臨時休業中の給食費相当額の支給について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○全国の状況をみると、北海道札幌市や神奈川県相模原市など、学校休業期間が長期化している自治体の一部では、就学援助制度において、給食費相当額の支給を行っているところもあると承知している。</p> <p>○当市の就学援助制度は、就学に必要な経費について支給することとしており、学校生活の中でかかる費用に対する支援を目的とするものであり、また、当市は、他自治体に比べ、市立小・中学校の教育活動を早期に再開できたことから、就学援助を受けている準要保護世帯に対する給食費相当額の支給については、特段の対応を行っていない。</p> <p>○当市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、家計が急変した世帯について、急変後の家計状況を加味して就学援助の支給対象とするなど、現に困っている世帯が必要な援助が受けられるよう柔軟に対応しているところである。</p>
担当課	学校教育課



◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	新型コロナウイルスの第二波、第三波が発生し、休校などにより給食提供できないときは、昼食費の支援を速やかに行って欲しい。また、その際は年間を通して調整するなど、過去の分も遡って支援して欲しい。

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 G I G Aスクール構想の実現について
発言の要旨	(1) 校内の通信環境の整備について
質問内容	当市における校内の通信環境の整備状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○国は、令和元年12月「G I G Aスクール構想の実現」として、「高速大容量の通信ネットワーク」と「1人1台端末」を一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びを全国の学校現場で積極的に実現させると提言した。</p> <p>○当市においては、国の学校I C T環境整備事業を活用し、平成21年度に小・中学校のネットワーク整備を実施した。この回線を利用して、現在も各学校において授業実践が進められており、情報の検索、動画の視聴等が積極的に行われている。</p> <p>○現状の回線ではネットワークの通信速度に限界があり、動画がスムーズに再生されなかったり、インターネットの検索の際に必要以上に時間がかかったりするなどの課題が見られた。</p> <p>○緊急経済対策として、国の令和元年度補正予算による「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用し、第一段階としてネットワーク整備をすることが求められた。</p> <p>○当市としては、1人1台端末の同時利用が可能となる児童生徒専用回線の増設計画を策定し、令和元年度3月補正で予算が承認された。</p> <p>○令和2年5月に委託契約を締結、今月中旬には工事に着手し、令和3年1月には全ての小・中学校で高速大容量の通信ネットワークが利用できることを目指し、整備を進めている。</p>
担当課	総合教育センター

~~~~~

◎再質問

|          |                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 再質問の有無   | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無                     |
| 質問内容(概要) |                                                                                      |
| 答弁者      | <input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長 |
| 答弁内容(概要) |                                                                                      |

## ◎要望

|          |                                                                  |
|----------|------------------------------------------------------------------|
| 要望の有無    | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 発言内容(概要) | 教室のみならず、特別教室・体育館など、校内のどんな場所でもネットワークを利用できる環境整備を目指して欲しい。           |

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 質問者(議員名) | 岡田 英 議員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 発言事項     | 3 G I G Aスクール構想の実現について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 発言の要旨    | (2) 児童生徒への1人1台の端末整備について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 質問内容     | 当市における児童生徒への1人1台の端末整備について伺いたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 答弁者      | <input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 答弁内容(概要) | <p>○G I G Aスクール構想実現の加速化によって、令和5年度末整備予定であった1人1台の端末整備が前倒しされ、今年度中の整備完了を目標とすることが国から示された。</p> <p>○当市においては、平成27年度より授業における効果的なコンピュータ等の活用が実現できるよう計画的に整備を進めてきたが、3.8人に1台の整備状況にとどまっている。</p> <p>○そのため、学習場面や活用内容が限定されたり、台数の不足によって使用時間が制限されたりする状況から、「台数を増やして欲しい。」という声が各学校から多く寄せられている。</p> <p>○小学校では令和2年度、中学校では令和3年度全面実施の学習指導要領で「児童生徒の情報活用能力の育成」が求められていることに加え、今後の臨時休業時の対応策の1つとして「1人1台端末整備は必要不可欠である」と考えている。</p> <p>○令和2年度中に国の補助金対象となる2/3と、地方財政措置算定分の1/3となる「小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒分16,698台の整備」を盛り込んだ整備計画を新たに策定した。</p> <p>○現在、1人1台端末整備の早期実現を目指し取り組んでいるところである。</p> |
| 担当課      | 総合教育センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

~~~~~

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒への1人1台の端末整備は、早期のICTスキルアップにつながるため、早急に導入をして欲しい。

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 G I G Aスクール構想の実現について
発言の要旨	(3) 整備にあたっての課題について
質問内容	整備にあたっての課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○G I G Aスクール構想実現の加速化が求められる中、現在国の示す整備目標達成に向けた準備を進めているところではあるが、1人1台の端末整備については、課題も見えてきている。</p> <p>○課題の1点目として、教員の研修の充実があげられる。1人1台の端末を活用しての授業づくりは、教員にとって初めての経験となるため、操作と活用についての研修が必要である。</p> <p>○1人1台端末整備に先駆けて、5月末の小中野小学校の校内研修を皮切りに具体的な授業場面を想定した研修会を開催することをとおして、1人1台端末が整備された場合の授業実践がスムーズに行われることを目指している。</p> <p>○課題の2点目として、今回導入予定のG I G Aスクールモデル仕様端末は、発売が9月予定と聞いており、さらに全国一斉に端末の調達を実施する状況から、早急な調達による台数の確保が急務である。</p> <p>○今年度中に1人1台端末整備を進める計画を策定し、端末の供給開始に間に合うよう取り組んでいるところである。</p> <p>○国の求める「できることから始める」という考えのもと、本市としては、当面、現在整備済みの端末を活用した授業実践の充実を図っていく。</p> <p>○整備後には授業だけでなく、家庭への持ち帰りによる学習等についても活用できるように、児童生徒が基本的な操作を理解し、1人でも学習を進めることができる情報活用能力を身に付けるための手引き等の作成についても検討していく。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	G I G Aスクール構想の実現に向けた早急な整備をした上で、教員に対する研修とともに、児童生徒のスキルアップにつながる手引き等の作成にも力を入れて欲しい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 指定管理者制度について
発言の要旨	(1) 図書館の競争原理確保について
質問内容	指定管理者の公募において、競争原理が確保されるよう、どのような対応をとったのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○第1期から第3期までの公募では、1社だけの応募であったため、平成29年度包括外部監査結果報告書において、競争性が発揮される仕組みについて次の募集までに見直されることが期待される、との意見をいただいた。</p> <p>○第4期においては、競争性が発揮されるよう、公募案内の市ホームページ掲載及び図書館での配布に加え、図書館等の指定管理の実績がある12団体へ要項等を送付し、積極的に公募の案内を行ったところ、公募説明会へ4社の参加があり、このうち、現指定管理者の株式会社図書館流通センターと三八五流通株式会社の2社から応募があった。</p> <p>○選定委員会を組織し選定したところ、600点満点中、株式会社図書館流通センターは450点、三八五流通株式会社は428点となり、株式会社図書館流通センターが引き続き指定管理者として選定された。</p> <p>○今後の指定管理者選定においても、競争原理が十分に発揮されるよう、努めていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 臨時休業に伴う学習の遅れの解消について
質問内容	臨時休業に伴う学習の遅れの解消について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○新型コロナウイルス感染拡大を防止するための臨時休業に伴い、児童生徒の学習の遅れが懸念される場所である。</p> <p>○市教委では、授業時数見込み調査等の結果をもとに、不足する授業時数について試算した。</p> <p>○その結果、当市においては、かねてより、インフルエンザの流行や自然災害による休校等に備えて、年間の授業時数を文部科学省が定める時数よりも多く設定していることもあり、不足する年間の授業時数は、小学校では、45分を1単位時間として36単位時間程度、中学校では50分を1単位時間として73単位時間程度であると算出した。</p> <p>○市教委では、授業時数を確保するために、主催する各種事業や研修講座等について、中止または規模を縮小する措置を講じた。</p> <p>○また、各学校においては、学校行事の中止や規模の縮小等、年間の行事予定を吟味・精選するとともに、教科横断的な視点で年間指導計画を見直した。</p> <p>○その結果、小学校では20単位時間程度、中学校では50単位時間程度、授業時数を確保することができ、不足する年間の授業時数は、小学校で15単位時間程度、中学校で25単位時間程度という見込みとなった。</p> <p>○市教委では、児童生徒の負担が過度にならないように配慮しつつ、不足する授業時数を補うために、夏季休業期間を短縮して、小学校においては3日間、中学校においては5日間、授業を行う日を追加する方針を決定し、5月29日付で、各学校及び保護者へ通知した。</p> <p>○これにより、臨時休業に伴う学習の遅れを取り戻し、文部科学省が定める学習内容を今年度内に履修するために必要な授業時数を確保できる見通しである。</p> <p>○さらに、各学校では、児童生徒の学習の状況や成果をきめ細かく把握するとともに、必要に応じて補充のための学習を実施するなど、感染症対策を講じながら、学習内容の確実な定着のための対策を工夫している。</p> <p>○市教委としては、今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、児童生徒の学習を保障するために各学校の支援に努める所存である。</p>
担当課	教育指導課



◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	修学旅行の日程変更に伴うキャンセル料の補償等について、国の動向を注視するとともに、家庭の経済的負担が軽減されるように学校を支援することを要望する。

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) G I G Aスクール構想の概要について
質問内容	当市の整備計画について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○教育における I C Tを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、国が実施した「平成 30 年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査」によると、現在の学校 I C T環境の整備は国が示す 3 人に 1 台の整備目標と比較して遅れており、自治体間の格差が大きいことが明らかになった。</p> <p>○国は令和時代のスタンダードな学校像を示すとともに、「全国一律の I C T環境整備が急務である」とし、令和元年 12 月「G I G Aスクール構想の実現」に向けた「高速大容量の通信ネットワーク」と「1 人 1 台端末」を一体的に整備するため、令和元年度補正予算を計上した。</p> <p>○本市としては、「G I G Aスクール構想の実現」を目指し、第一に「高速大容量の通信ネットワーク整備計画」を策定した。</p> <p>○「G I G Aスクール構想の実現」の加速化を受けて、これまで、令和 5 年度までに整備完了予定であった「1 人 1 台端末の整備計画」を、今般における新型コロナウイルス感染拡大のような有事における持ち帰りによる学習の視点も加えて見直しを図り、今年度中に整備する計画を改めて策定した。</p> <p>○整備計画の全てを実現するためには、莫大な予算が必要となるため、整備に当たっては、「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」「公立学校情報機器整備費補助金」を活用し、市の負担軽減を図り、早期実現を目指し取り組んでいるところである。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	G I G Aスクール構想の早期実現を目指していく上で、課題は多くあると思うが、力強く進めて欲しい。

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) デジタル教科書の活用について
質問内容	学習者用デジタル教科書や指導者用デジタル教材の活用について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○一般的にデジタル教科書と呼ばれる教材は、文部科学省のガイドラインにおいて、学習者用デジタル教科書と指導者用デジタル教材の二種類が示されている。</p> <p>○学習者用デジタル教科書は、紙の教科書と同一の内容がデジタル化された教材である。学習者用デジタル教科書の主な機能には、文字の大きさ・背景色の変更や、振り仮名の表示、音声による読み上げ等がある。</p> <p>○その機能を使うことで、特別な支援を必要とする児童生徒にとっても、学習上の困難を低減させることが期待できる。</p> <p>○しかし、学習者用デジタル教科書は、一人一台の端末にインストールする必要があるとともに、効果的な活用方法の研究が進んでいないため、当市では導入に至っていない。</p> <p>○指導者用デジタル教材は、教科書に掲載された資料等に加え、動画やアニメーション、音声等の資料を提示するものである。各学校においては、例えば「外国語および外国語活動」の授業で、音楽や映像に合わせて英語の発音や表現に慣れ親しませたり、「道徳」の授業で、挿絵を拡大して提示し、主人公の心情を考えさせたりするなど、児童生徒の興味・関心を高める場面で活用されている。</p> <p>○市教委としては、学習者用デジタル教科書と指導者用デジタル教材の効果的な活用方法について、教員研修等を通じて周知し、「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりを推進したい。</p>
担当課	総合教育センター

~~~~~

◎再質問

|          |                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 再質問の有無   | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無                     |
| 質問内容(概要) |                                                                                      |
| 答弁者      | <input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長 |
| 答弁内容(概要) |                                                                                      |

◎要望

|          |                                                                                              |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 要望の有無    | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無                             |
| 発言内容(概要) | 誰も取り残さない個別最適化された学習を進めるためには、個々の特性に応じた学習教材が必要である。そのためにも、学習者用デジタル教科書を試験的に導入するなど、研究を推進することを要望する。 |

